

## 2. 地域特性

### (1) 沿革

南国市は、高知県の中央部に位置し、土佐の稲作の発祥地として弥生時代から稲作が盛んな地で、高知空港周辺、また中央部の長岡台地には、県内でも有数の弥生時代の遺跡がある。また、高知県立歴史民俗資料館周辺には80基に及ぶ古墳も確認されている。16世紀末に長宗我部氏が居城を現在の高知市浦戸に移すまで、高知県の政治、文化の中心地として栄えてきた。

土佐の歴史の宝庫であり、恵まれた自然と環境を生かし、近代以降は農業を中心に発展してきた。

昭和31年の後免町、香長村への合併を経て昭和34年10月1日、5町村が合併して南国市が誕生した。現在も旧13町村単位に小学校があり、それぞれの地域特性を残しながら現在に至っている。

南国市の後免駅と県東部の奈半利駅を結ぶローカル線「ごめん・なはり線」が運行している。各駅にはアンパンマンで知られる漫画家やなせたかし氏デザインのキャラクターが設置されており、アンパンマン列車も運行されている。また、後免町駅を起点として土佐電気鉄道の路面電車があり、交通手段として利用されている。

### (2) 南国市の人口について

人口は、減少傾向にある。平成20年までは人口が50,000人を超えていたが、平成21年に40,000人台になり、その後も人口は、微減を続けている。高齢化も進んでおり、平成22年の時点で25.5%になっている。交通の便が比較的良好で、優良企業が立地しているにもかかわらず、昼間人口が必ずしも市内在住に結びついておらず、生産年齢人口が流出傾向にある。

南国市は市の中心部全域が都市計画区域の指定を受けている。また、農業用地も多く、周辺部は開発規制により、企業の立地、宅地の造成等に制限がかかっていることが、県都高知市に隣接して比較的良好な交通の便がよいにもかかわらず、人口の増加に歯止めがかかる要素となっている。

### (3) 交流

南国市は、学術研究拠点として、高知大学医学部及び農学部、高知工業高等専門学校などの高等教育機関がある。また、国内唯一の研究機関である海洋コア総合研究センターがある。高知県内でも南国市は、学園都市として位置づけされている。その関係で、南国市には、高知大学医学部及び農学部への留学生を中心に、外国人住民が住んでいる。比較的高学歴で、また家族とともに滞在する者が多いことから、南国市国際交流協会を中心とした市民レベルの交流も盛んに行われている。

また、高知大学、高知工業高等専門学校、高知工科大学と協定を結び、官学連携なども進んでいる。

市北部には南国インターチェンジがあり、その周辺は、南国オフィスパーク、高知岡豊工業団地、臨高速流通団地ほか、多くの企業が立地している。市南部にも2か所の流通団地があり企業誘致に積極的に取り組んでいる。

#### (4) 農業

南国市の主要産業は、農業、商業、建設業である。早場米や二期作などで知られた高知の米どころである。また、園芸野菜として、ししとうや生姜、ピーマン、ナスなどを生産も盛んである。特に生姜は、東京にある高知県のアンテナショップでも評判がよい。かつては、二期作が盛んだったが、近年は、減反等で二期作は行われていないが、全国一の早場米の産地であることは今も変わりはない。

#### (5) 産業

南国市に立地している企業として、ミロクグループがある。昔から猟銃などを製造していたが、最近では、加工技術を活かして高級自動車用の木製・竹製ハンドルなども手がけている。

カシオ計算機創業者が南国市久礼田の出身であることから、北部に同社の半導体工場が進出している。現在は企業合併によりオルタステクノロジー高知と社名を変えて継続している。東部には、昔から都築紡績株式会社が立地している。北部久礼田などでは、打刃物が盛んで、この分野では世界的にも高い技術を誇る。

#### (6) 健康・福祉

南国市は、高齢化率が25.5%の超高齢化社会であり、高齢者も元気で活力のある暮らしができる健康文化都市を目指している。

#### (7) 教育

平成9年度から地場産米を学校給食に導入する取り組みを行っている。食育を教育の一環とし、家庭用炊飯器を学校に配置して自校炊飯で子どもたちに給食を提供している。また、南国市の給食に使われているのは、南国市の棚田で採れた棚田米であり、自分たちで田植えや稲刈りを行うなど、地域の食文化や農業への理解を深める取り組みを行っている。また、学校給食に地場産品を利用するなど、地産地消の取り組みを行っている。

小学校から大学までの教育機関が整備され、教育環境に恵まれている地域である。

平成21年度に総務省の補助を受けて、教育のICT化に取り組んだ。市内の2校（久礼田小学校と奈路小学校）をモデル校として選定し、校内の児童に携帯端末を配布して実践事業を行った。電子黒板については市内全校に配置、情報共有用のサーバー、ネットワークを整備して教材の配布を行う等の取り組みを行っている。モデル校で実践された取り組みについては、児童にも好評だった。引き続き、携帯端末の全小学校導入を進めており、導入された学校では、国語や理科、体育の事業に積極的に活用され、成果を上げている。

#### (8) 防災・消防

平成22年に危機管理課が設置され、南海地震対策等の防災の取り組みを推進している。各地区に自主防災組織を立ち上げ、危機管理課、消防本部を中心に震災訓練や救出訓練など災害に備えた取り組みを行っている。毎年、市内の小中学校で街歩きや防災訓練など、子ども防災キャンプを実施し、防災意識の向上に努めている。

## (9) 観光

中心市街地に後免町商店街があるが、この地区は65歳以上人口の比率が約35.5%と、特に高齢化が進行しており、後継者不足で商店街自体が存続の危機に見舞われている。ただ、最近、空き店舗を利用して農業高校の生徒が自分たちが作った商品を販売する店舗を開設したり、年に数回、軽トラ市を行い、にぎわいを取り戻そうと取り組みを行っている。軽トラ市は、軽トラックに地域の特産物を積んで販売するものであり、南国市の人気キャラクター「ごめん戦隊ゴメンジャー」ショーなどのイベントも行われ、成果を上げている。

この後免町商店街には、やなせたかし氏が、小学校時代を南国市で過ごした縁で、アンパンマンのキャラクター石像が設置されている。また、同氏の発案で地区の名称「ごめん」を生かした「はがきでごめんなさいコンクール」が平成15年から行われており、全国から作品が寄せられている。

また、全国鍋合戦で優勝したシャモ鍋の振興も南国市商工会が力を入れている事業である。このシャモ鍋は、NHKで放送されていた「龍馬伝」にも出てきている。シャモ料理を復活させようと市内の農家で軍鶏を飼育し、市内の店舗と協力してシャモ鍋を復活し、ブランド化を図っている。

南国市の産品をPRする場として、高知自動車道南国インターチェンジの近くの道の駅南国「風良里（ふらり）」のレストランの定休日を利用して営業している農家レストラン「まほろば畑」があり、市内の農家の女性グループが地産野菜等を使った料理をバイキング形式で昼食を提供している。

高知空港ビル2階にはアンテナショップ空の駅「なんこくまほら」があり、情報発信拠点として地元の特産品や加工品を販売している。

南国市の観光イベントとして、平安時代の装束をまとった行列が市内を練り歩く「土佐日記つらゆき時代まつり」を毎年行っている。

そのほか、市民イベントとして「土佐のまほろば祭り」、また伝統的な祭りとして八坂神社の三番叟、伊都多神社の秋祭り、えんこう祭りなどが行われている。



**3 南国ホースパーク**

南国市にある南国ホースパークは、馬が好きな人々で賑わっている場所です。ホースパークには、乗馬体験や馬の飼育体験など、様々な体験型施設があります。また、馬の展示や競馬観戦も楽しめます。南国ホースパークは、南国市の観光名所として知られています。

**4 まほら**

南国市の情報発信拠点として、まほら（まほろば）が活躍しています。まほらには、南国市の観光情報やイベント情報などが掲載されています。また、南国市の魅力を伝えるための様々な取り組みを行っています。まほらを通じて、南国市の魅力を多くの人に知ってもらいたいと考えています。

**5 ながおか温泉**

「A長閑の湯に、ぬるぬるの湯」が特徴的な、ながおか温泉。温泉の湯温は約40度で、肌ざわりが非常に良いと評判です。また、温泉の湯質は、肌を潤かす効果があります。ながおか温泉は、南国市の観光名所として知られています。

**6 長尾鶏センター**

南国市長尾鶏センターは、長尾鶏の産地として知られています。センターには、長尾鶏の展示や販売があります。また、長尾鶏の産地ならではの体験型施設も充実しています。長尾鶏センターは、南国市の観光名所として知られています。

**1 巨峰園**

南国市にある巨峰園は、巨峰の産地として知られています。園には、巨峰の展示や販売があります。また、巨峰の産地ならではの体験型施設も充実しています。巨峰園は、南国市の観光名所として知られています。

**7 高知県立歴史民俗資料館**

高知県立歴史民俗資料館は、高知県の歴史や民俗を伝えるための施設です。館には、高知県の歴史や民俗に関する様々な資料が展示されています。また、高知県の歴史や民俗に関する様々な取り組みを行っています。高知県立歴史民俗資料館は、高知県の観光名所として知られています。

**2 西島園芸園地**

南国市にある西島園芸園地は、園芸愛好者にとって人気の場所です。園地には、様々な種類の園芸植物が展示されています。また、園芸に関する様々な取り組みを行っています。西島園芸園地は、南国市の観光名所として知られています。

**8 時計博物館**

南国市にある時計博物館は、時計の歴史や文化を伝えるための施設です。館には、時計の歴史や文化に関する様々な資料が展示されています。また、時計の歴史や文化に関する様々な取り組みを行っています。時計博物館は、南国市の観光名所として知られています。